

2017年7月14日

【格付維持】

Barclays PLC

発行体格付： A－ [格付の方向性：安定的]

Barclays Bank PLC

発行体格付： A [格付の方向性：安定的]

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

Barclaysグループは英国の大手金融機関。中核銀行のBarclays Bank PLCは英国4大銀行の一角を占める。リスク耐久力は格付に見合う水準にあり、十分な流動性を確保できていることなどを踏まえ、Barclays PLC、Barclays Bank PLCの格付を維持した。格付の方向性は安定的。

なお、Barclays PLCの格付は持株会社固有の構造的劣後性などをR&Iは考慮し、グループ全体の信用力をそのまま反映しているBarclays Bank PLCの格付の1ノッチ下としている。

グループは2019年に実施予定のリングフェンス規制に対応するため、英国のリングフェンス銀行(RFB)の業務を担うことになる「Barclays UK」とノンリングフェンス銀行(NRFB)の業務を担うことになる「Barclays International」の2つの部門にコア事業を再編成したと2016年3月に発表した。また、Barclays Africa Group Limited (BAGL) に関して、2017年6月に株式の私募により、持分比率は約15%まで低下しており、健全性監督機構(PRA)が承認すれば、規制上非連結化が可能となる見込みだ。

2013年末から2016年末までに特定行為や訴訟関連費用、その他特記事項を除いたグループの営業費用を約45億ポンド削減し、グループの収益に対する費用の比率は2016年度に76%まで低下している。一方、ノンコア部門(BNC)は2016年に資産縮小の加速に伴い、28億ポンドの税前損失となった。2017年は前年よりも大きく減るが約10億ポンドの税前損失を見込んでいる。BNCは2017年6月末で閉鎖される。ただし、コア事業だけをみれば、収益に対する費用の比率は目標である60%未満に対して2016年末に64%まで低下しており、利益を比較的安定して確保している。

慎重な貸し出し姿勢などを反映し、信用コスト率は過去平均の水準を下回っている。BAGLを売却目的に再分類したことで、2016年の信用リスクローンは大きく減っている。とはいえ、英国の欧州連合(EU)からの離脱の過程で、英国の経済に下押し圧力がかかり、失業率が増加したり、不動産価格が下落するようだと、資産の質の悪化につながる可能性があり、注意を払う必要がある。

リスク耐久力は格付に見合う水準にある。当面は訴訟関連費用の高止まりなどで内部留保の蓄積が圧迫されるリスクがある。一方、BNCのリスク資産の継続的な削減に加えて、BAGLが規制上非連結化すれば、リスク耐久力のさらなる改善につながる可能性が高い。2017年3月末でPRAの完全施行ベースの普通株式等Tier1比率は12.5%となっている。自己資本指令(CRD)4バッファー完全施行時の2019年時点でも、規制上の最低水準に経営上のバッファー約1.5~2%を加えた比率を維持することを目標としている。2017年3月末で経過措置による最低要件を3.5%上回っている。

リテールの預貸率は2017年3月末で82%。コア事業の預金が増えているため、預貸率は改善傾向にある。2017年3月末のグループの流動性プールは1850億ポンドで、会社試算のCRD4基準の流動性カバレッジ比率(LCR)は140%。いずれも前年を上回っている。

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性(信用力)に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付(変更・取り下げ等を含む)に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。

グループのリングフェンス計画では、RFBもNRFBも資産の質はいずれも良好で、資本や流動性は十分なバッファを備え、預貸率も100%を下回る見通しとなっている。Barclays Bank PLCはNRFBとなる計画だが、グループにおける戦略的な重要性に変化がないとみている。そのため、リングフェンス規制の実施後も引き続き、Barclays Bank PLCの格付はグループ全体の信用力をそのまま反映させる可能性が高い。リングフェンス規制への対応状況を注視していく。

【格付対象】

発行者：Barclays PLC

名称	格付		格付の方向性	
発行体格付	A-（維持）		安定的	
名称	発行総額 (億円)	発行日	償還日	格付
第1回円貨社債(2015)	140	2015年09月17日	2018年09月14日	A-（維持）
第2回円貨社債(2015)	420	2015年09月17日	2020年09月17日	A-（維持）
第1回変動利付円貨社債 (2015)	40	2015年09月17日	2020年09月17日	A-（維持）

発行者：Barclays Bank PLC

名称	格付	格付の方向性
発行体格付	A（維持）	安定的

■お問合せ先：マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp

■報道関係のお問合せ先：経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が発行する金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	小林 正樹
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	細田 弘

信用格付を付与した日	2017年07月07日
主要な格付方法	事業法人等の信用格付の基本的な考え方 [2015. 05. 01] 金融機関等に共通する格付の考え方 [2017. 03. 07] 預金取扱金融機関 [2015. 12. 21] 金融グループの格付の考え方 [2013. 07. 31] 規制資本商品等と金融機関等の格付の考え方 [2016. 10. 20]
上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。 http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html	
評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。 http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/index.html	
格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。 http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html	
格付関係者	Barclays PLC、Barclays Bank PLC
注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。	
利用した主要な情報 品質確保のための措置	決算書類、開示情報 公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者
信用格付の前提、意義及び限界	
R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。	
R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。	
利息・配当の繰り延べ、元本の返済猶予、債務免除等の条項がある債務等の格付は、その蓋然性が高まったとR&Iが判断した場合、発行体格付又は保険金支払能力とのノッチ差を拡大することがあります。	

■お問合せ先 : マーケティング本部 カスタマーサービス部 TEL. 03-6273-7471 E-mail. infodept@r-i.co.jp
 ■報道関係のお問合せ先 : 経営企画室(広報担当) TEL. 03-6273-7273

株式会社格付投資情報センター 〒101-0054東京都千代田区神田錦町三丁目22番地テラススクエア <http://www.r-i.co.jp>

信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見であり、事実の表明ではありません。また、R&Iは、信用リスク以外のリスクにつき意見を表明するものではなく、投資判断や財務に関する助言や、投資の是非等の推奨をするものではありません。R&Iは、信用格付に際し関連情報の正確性等につき独自の検証を行っておらず、これに関し何ら表明も保証もいたしません。R&Iは、信用格付（変更・取り下げ等を含む）に関連して発生する損害等につき、何ら責任を負いません。信用格付は、原則として発行体から対価を受領して実施したものです。なお、詳細につき<http://www.r-i.co.jp/jpn/policy/policy.html> をご覧ください。